

茅ヶ崎市保健所管内感染症情報

令和8年第25週（令和8年6月15日～令和8年6月21日）

〇麻しん（はしか）患者の発生が確認されています。

2026年1月以降、神奈川県内では麻しん患者が49例(令和8年6月18日現在)報告されています。

麻しんウイルスは感染力が強く、空気感染するので、手洗い、マスクのみで予防できません。感染すると10～12日の潜伏期間を経て、発熱、せき、鼻水など風邪のような症状が現れ、2～3日発熱が続いた後に、39℃以上の高熱と全身に赤い発疹が出ます。

麻しんと思われる症状が見られたら、必ず事前に医療機関に連絡し、麻しんの疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従い受診しましょう。受診時は、周囲への感染を防ぐために、公共交通機関の利用を避けてください。

予防には、ワクチン接種が最も有効です。我が国では、1歳時及び5歳時（小学校入学前の1年間）に定期接種として麻しんの予防接種を行っています。ご自身の予防接種歴をご確認いただき、まだ接種されていない場合は、麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）の接種をご検討ください。

【全数把握対象疾患】

	診断（第25週）（件数）	累計（令和8年第1週以降）（件数）
一類感染症		
二類感染症		結核(6)
三類感染症		
四類感染症		A型肝炎(1), レジオネラ症(4)
五類感染症		アメーバ赤痢(1), 侵襲性肺炎球菌感染症(3), 水痘（入院例）(1), 梅毒(4), 百日咳(7)

【定点把握対象疾患】

→休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）

	医療機関	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
小児科	A	1	0	0	0	2	22	0	10	0	0	4	0
	B	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	C	0	0	0	0	0	5	0	3	0	0	1	0
	D	0	0	0	0	0	1	7	0	2	0	0	1
内科	E	1	1										
	F	0	0										
	G	0	0										
	合計	2	1	0	0	3	34	1	16	0	0	6	0
	定点当たり	0.29	0.14	0	0	0.75	8.50	0.25	4.00	0	0	1.50	0

	医療機関	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
眼科	H	0	0
	I	0	1
	合計	0	1
	定点当たり	0	0.5

茅ヶ崎市保健所管内における上位3疾患

	疾患名	今週	先週
1	感染性胃腸炎	34	18
2	手足口病	16	15
3	ヘルパンギーナ	6	2

【急性呼吸器感染症（ARI）】

	医療機関	急性呼吸器感染症
小児科	A	205
	B	30
	C	117
	D	84
内科	E	50
	F	5
	G	15
	合計	506
	定点当たり	72.29

茅ヶ崎市保健所保健予防課

【最近4週間の推移】

上段：報告数 下段：定点当りの報告数

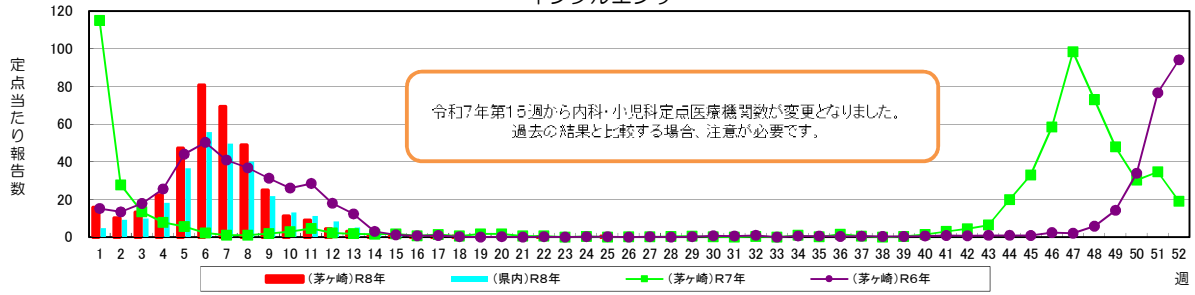
	疾病名	22週	23週	24週	25週	前週比
小児科	定点医療機関数	4	4	4	4	
	RSウイルス感染症	0	0	0	0	➡
		0	0	0	0	
	咽頭結膜熱	0	0	0	0	➡
		0	0	0	0	
	A群溶結性レンサ球菌咽頭炎	4	3	5	3	⬇
		1.00	0.75	1.25	0.75	
	感染性胃腸炎	23	10	18	34	⬆
		5.75	2.50	4.50	8.50	
	水痘	2	3	0	1	⬆
		0.50	0.75	0	0.25	
	手足口病	11	16	15	16	⬆
		2.75	4.00	3.75	4.00	
	伝染性紅斑	0	0	0	0	➡
0		0	0	0		
突発性発しん	2	6	1	0	⬇	
	0.50	1.50	0.25	0		
ヘルパンギーナ	0	0	2	6	⬆	
	0	0	0.50	1.50		
流行性耳下腺炎	0	1	1	0	⬇	
	0	0.25	0.25	0		
眼科 定点	定点医療機関数	2	2	2	2	
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	➡
		0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	1	2	0	1	⬆
0.50		1.00	0	0.50		
内科 (ARI定点)	定点医療機関数	7	7	7	7	
	インフルエンザ	1	0	0	2	⬆
		0.14	0	0	0.29	
	新型コロナウイルス感染症	0	0	2	1	⬆
		0	0	0.29	0.14	
急性呼吸器感染症 (ARI)	434	476	486	506	⬆	
	62.00	68.00	69.43	72.29		

※急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

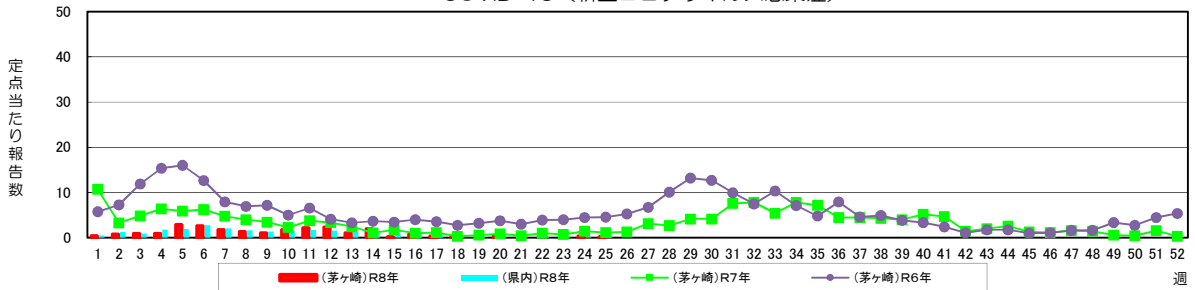
※前週比は、定点当りの報告数を基に作成しています

一休診等により報告なし (定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます)

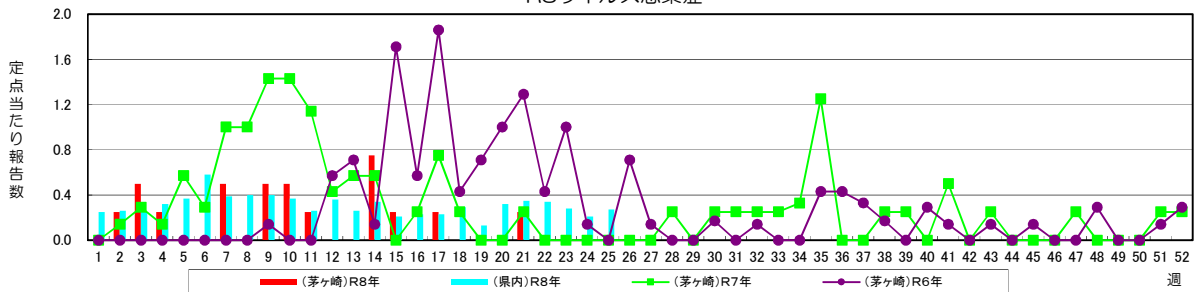
インフルエンザ



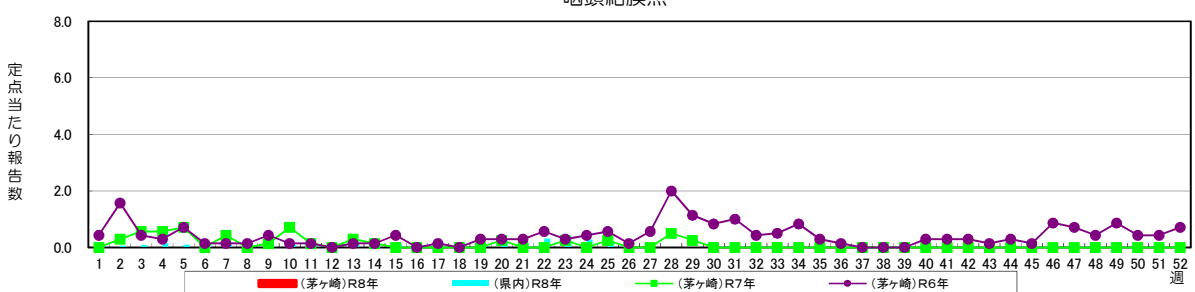
COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)



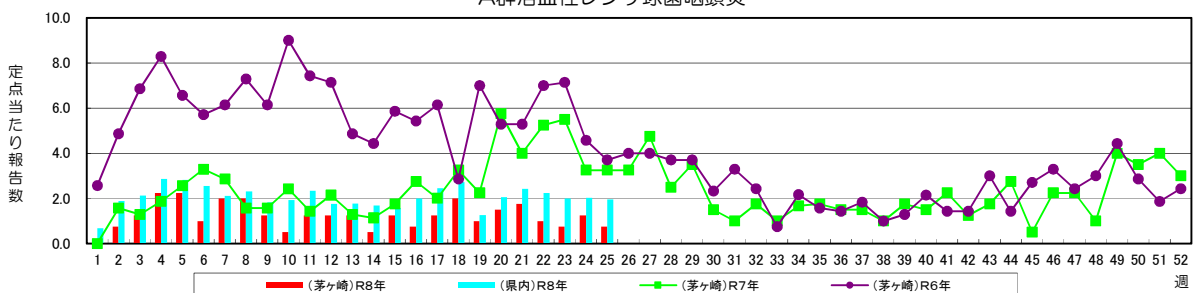
RSウイルス感染症



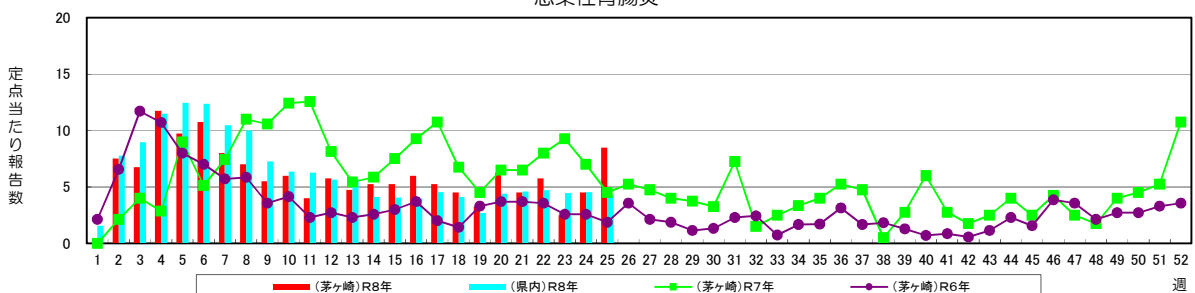
咽頭結膜熱

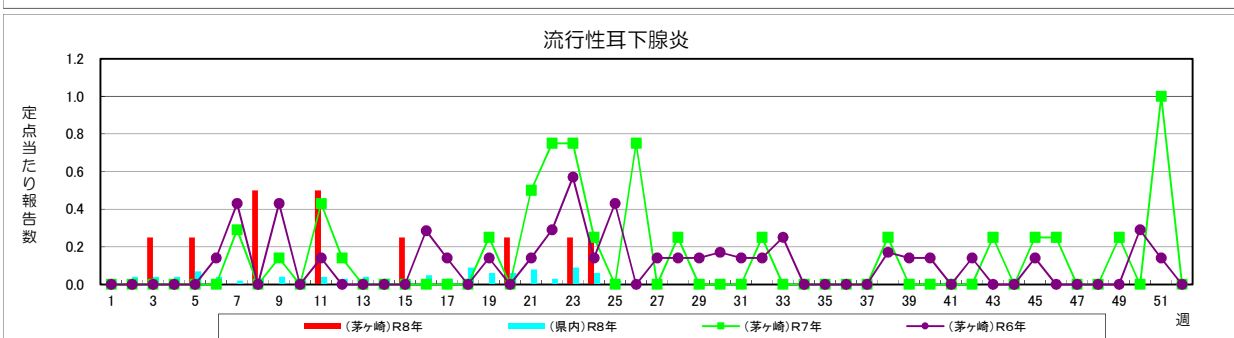
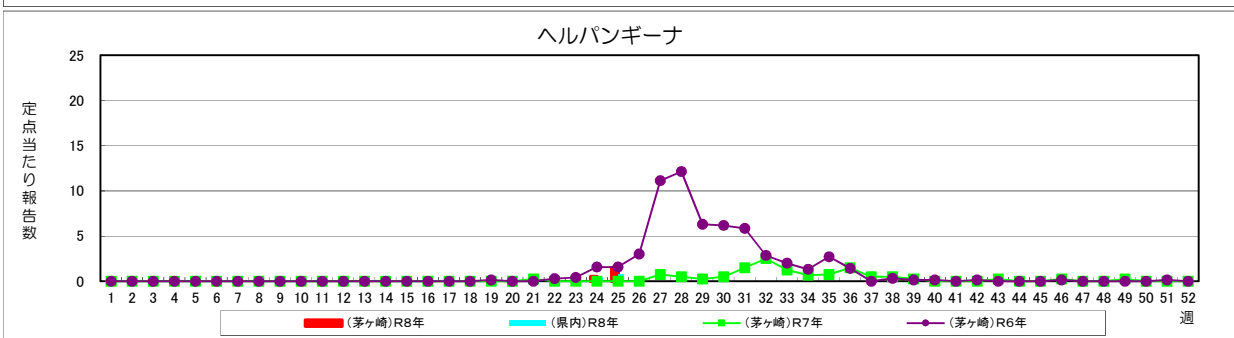
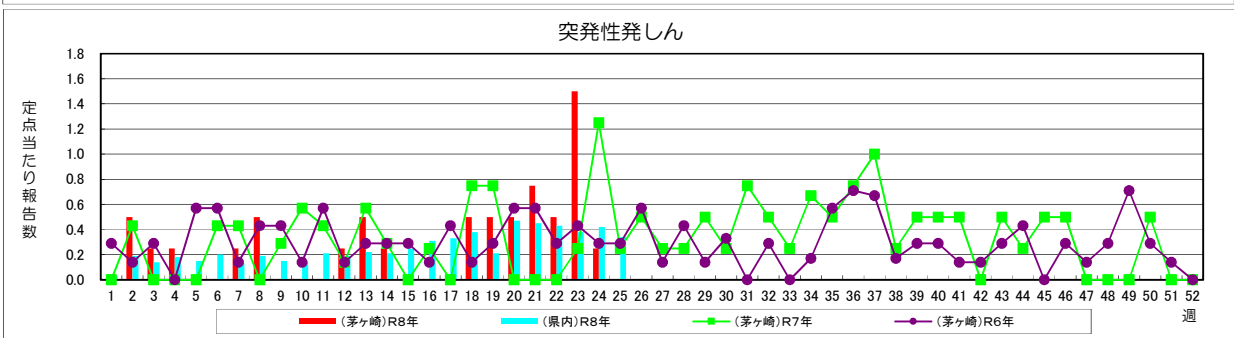
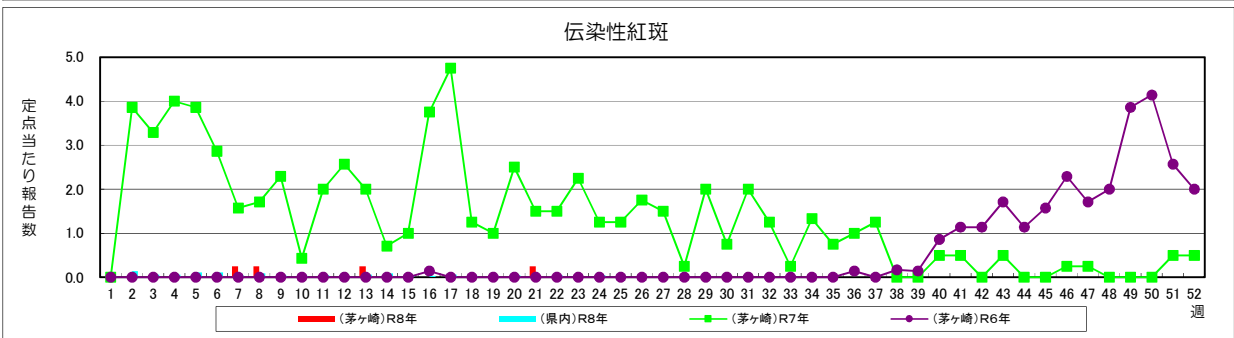
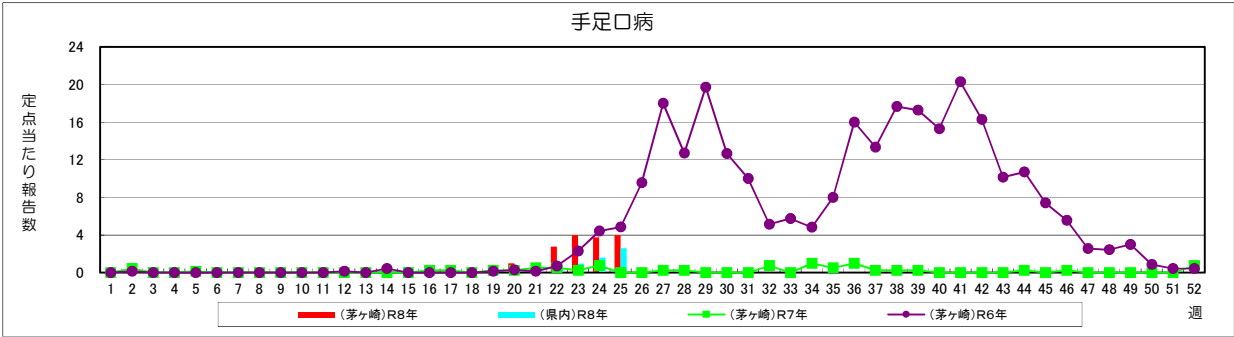
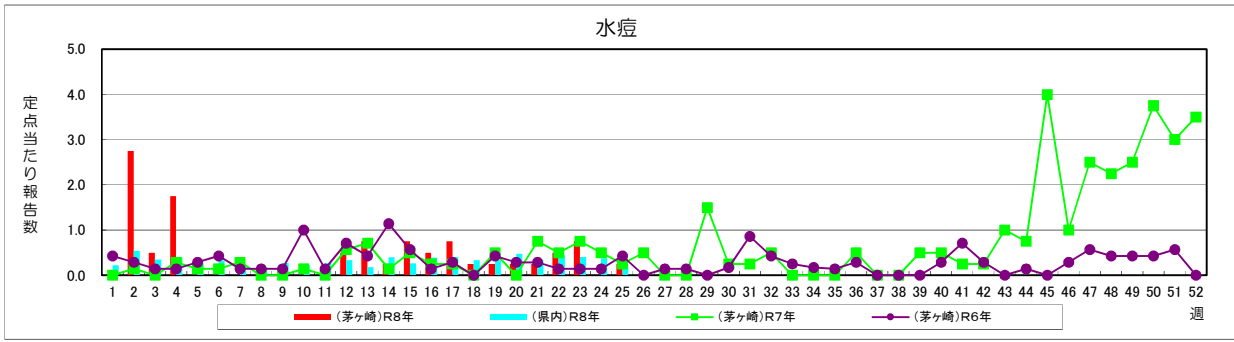


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

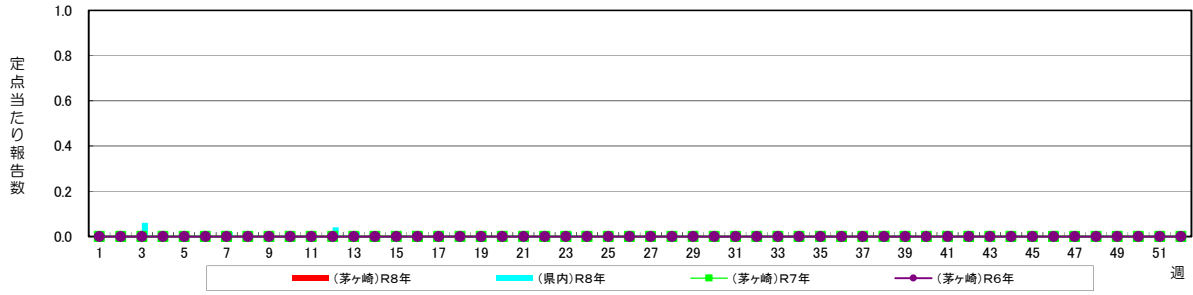


感染性胃腸炎

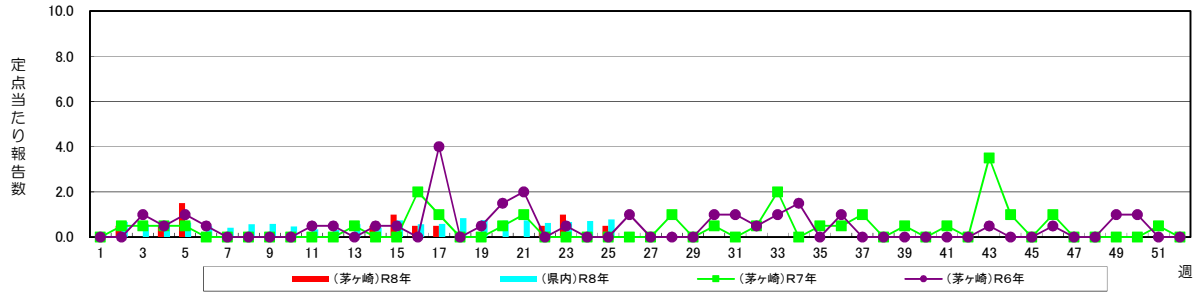




急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



急性呼吸器感染症(ARI)

